

家庭学習のてびき

☆ 家庭学習の取組のねらい

- ①家庭学習の習慣をつける。…一定時間学習する力を付けていく。(学習習慣づくり)
- ②基礎基本の内容を定着させる。…授業で気が付かなかったことに気づいたり、自信がなかったことを確かにする。また、定着を確かめたり、習熟を図ったりする。(学習内容の定着)
- ③課題をやりきる力をつける。…主体的に学習に取り組む。課題に挑戦し、最後までやり通す。(学習姿勢づくり)

峰山小学校では、基礎基本の学習内容を児童に確かに身に付けさせることをねらい、分かる授業づくりを一層進めていきたいと考えています。

毎日取り組む家庭学習についてもより一層充実させ、学習する習慣を付けたり、授業で学習したことを確かに定着させたりしたいと考えています。継続的に取り組むことは、確実に学力を付けるための大きな力になります。また、最後まで課題をやり切ることで学習内容の定着はもちろん、課題に立ち向かう強さや粘り強さをつけ、たくましく取り組める主体性も養っていききたいと思います。子ども達が、主体的に学習することが、より確かな力になるからです。

家庭学習に確実に取り組み、ねらう力を付けるには、ご家庭の支えが一番必要。子ども達の家庭学習への取組に協力し、学校と一緒に励まし、また、伸ばしていきましょう。

峰小の子ども

- 「自分の学習を自分でつくる子」
- ・自分で学習を始める。
 - ・わかるまで勉強する。
 - ・できるまで取り組む。

☆ 家庭学習ががんばれるように

子どもが家庭学習に取り組んでいるとき、まわりの大人のかかわりがとても大切です。がんばっているときも、わからなくて困っているときも、声をかけて励ましたり、支えたりしましょう。

- ①自分から学習を始めたらいかにほめてやりましょう。
- ②子どもがやり切ったときや努力したときもがんばりを十分ほめてやりましょう。
- ③子どもが自分で答えを出していくことを大切にしましょう。
- ④どんな家庭学習が出されているのか知っておきましょう。



☆ 家庭学習を支えるために

- ①生活リズムを整え、学習しやすいようにしてやりましょう。(起床・就寝時刻、学校から帰ったあとの生活、土・日の過ごし方)
- ②心と体の様子の変化に気を配り、学校でのことに関心を示してやりましょう。(新しい知識や初めての経験に出会いながら子どもは成長していきます。そのことに目を向け、子どもと一緒に喜びあったり、受け止めたりしていくことが大切です。)
- ③子どもの話を聞いてやりましょう。(自分の思いや経験を話すことは力になります。また、親子の会話を増やすことで、家族からの安心感や解決の糸口を見つけるきっかけになったりします。)
- ④家庭学習の大切さは中学校でも同じです。中学校へつながるがんばりの力として見ていきましょう。

☆ 6年の家庭学習

- ・音読 [音読カード]
読みのポイントを意識しながら、声に出して読みます。お家の人に聞いてもらい、聞き手を意識した速度や声の大きさを大切にしていきます。聞いて頂きましたらサインか一言を音読カードにお願いします。
- ・漢字 [漢字ノートに20問・1回ずつ]
隙間を空けずに書いていきます。横に、読み仮名も書きます。一字一字丁寧に取り組み、確実に覚え、定着を図っていきます。
- ・計算練習など [計算ドリルやプリント]
計算ノートにかいていきます。問題と問題の間をあけたり、定規を使ったり、ノートの使い方も意識しながら丁寧に取り組みます。繰り返し取り組むことで確かな定着を図っていきます。
- ・自主学习 [自主学习ノートに]
学級でテーマを決めたり、各自でテーマを決めたりして取り組みます。自分で課題を設定し、主体的に学習していく力をつけていきます。

☆ 家庭学習へ向かう姿勢をつくるために

- ①毎日決まった勉強時間を確保してやりましょう。
例えば、小学校では「学年×10～15分間」が勉強時間の目安と言われます。
- ②子どもが自分の意志で始めることを大切にしましょう。
- ③結果より、どう取り組んだか、どう考えたかを見ていきましょう。
- ④子どもに任せすぎないようにしましょう。
「低学年のときは、勉強があまり難しくないので」とか、「だいたいわかっているから」など子どもに任せすぎず、親としての目でしっかりと見て、学習に向かう気持ちを支えましょう。
- ⑤自分のために学習することの大切さを感じとらせましょう。
勉強することとモノ、小遣いとの関係について、考えてみる必要はありませんか。

